

Calendar grid for April to March, showing dates and museum closure days (休館日).

企画展示室・特別展示室

◎展示解説 企画展担当職員が会期中解説を行います。

第122回企画展

4/13(土) - 6/9(日)

いちめんのなのはな
-教科書で出会った詩人・山村暮鳥-

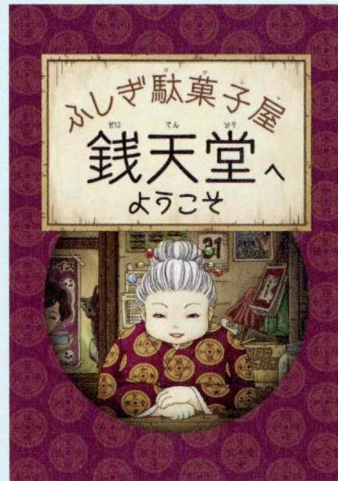


群馬県で生まれ育った詩人・山村暮鳥の生誕140年記念展。暮鳥の詩は教科書に長年にわたり掲載され、現代に生きる私たちにも自然の美しさや人間の尊さを教えてくれます。本展では「風景 純銀もざいく」「雲」などの教科書掲載作品を中心に、自然と人間を愛した暮鳥の詩を紹介しつます。

第123回企画展

7/6(土) - 9/30(月)

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ



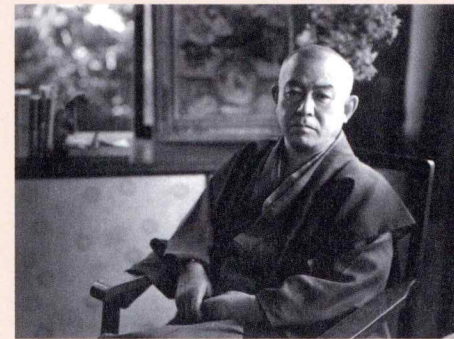
児童小説「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」(作・廣嶋玲子、絵・jyaja、偕成社)は、子どもはもちろん、大人にも大人気のシリーズ。本展では、作者インタビューや表紙イラストなどの展示の他、多彩なディスプレイで作品の舞台を再現。銭天堂の物語世界を楽しめる展示となっています。

◎廣嶋玲子, jyaja / 偕成社

第124回企画展

10/19(土) - 1/26(日)

谷崎潤一郎展

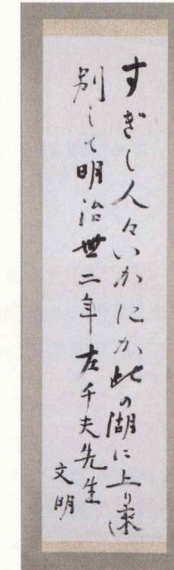


昭和24年頃の谷崎潤一郎 芦屋市谷崎潤一郎記念館提供

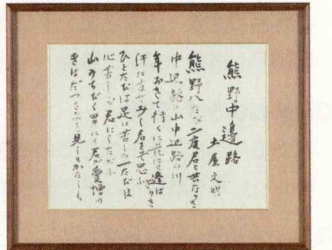
耽美派の巨匠・谷崎潤一郎は、「刺青」「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」などの作品を生み出すとともに、日本文学史上の大作「源氏物語」の訳業をしたことでも知られています。本展では、その生涯を追うとともに、谷崎の訳した「源氏物語」の魅力に迫ります。

新収蔵資料展

2/8(土) - 3/16(日)



土屋文明短歌幅 「すざし人々」



土屋文明短歌額 「熊野中辺路」

近年新たに収蔵された資料の一部を展示・紹介します。土屋文明、斎藤茂吉ら、アララギ関連の直筆資料を中心に、短歌幅、画幅、書簡など、多彩な資料をぜひご覧ください。

常設展示室

常設展示「土屋文明 - その作品と生涯 -」文化勲章を受章した日本を代表する歌人・土屋文明(明治23年(1890)9月18日~平成2年(1990)12月8日)の作品と生涯を紹介しています。



土屋文明は、明治23年、群馬県西群馬郡上野村(現在の高崎市保渡田町)に生まれました。明治42年に上京し、伊藤左千夫のもとで短歌結社「アララギ」に参加。昭和5年には斎藤茂吉の後継として『アララギ』の編集発行人となります。昭和20年に川戸(現在の群馬県吾妻郡東吾妻町)に疎開し、『万葉集』の研究を深めます。戦後は東京・南青山に戻り、昭和28年には宮中歌会始選者となり、『万葉集私注』で芸術院賞を受賞。戦後の「第二芸術論」に対し短歌の価値を守った最大の功労者として短歌界を牽引するとともに、『アララギ』や新聞での選歌に力を注ぎ、96歳で文化勲章を受章、平成2年に100歳で没しました。



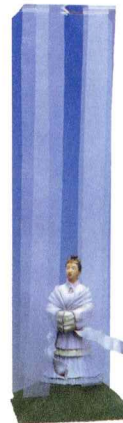
書齋

東京・南青山にあった旧宅の書齋部分を、常設展示室内に移築し公開しています。住居の設計は歌人で設計技師の近藤芳美が行いました。引戸がついた本棚や、窓ガラス手前にある辞典類を広げるための棚が特徴です。

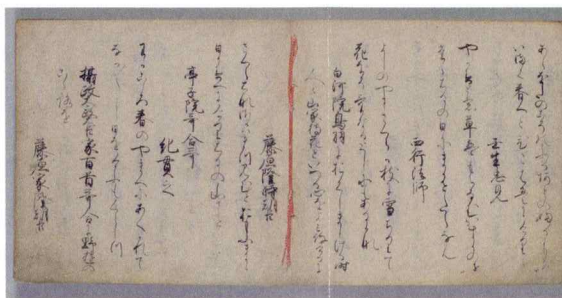


「短歌の世界」コーナー

展示室中央部を取り囲む柱の中には、『万葉集』から近代以降まで、36人の歌人の人形が埋め込まれ、それぞれ1首ずつの短歌を紹介しています。その他に、『新古今和歌集』(写本)をはじめとする三代歌集などの資料も展示しています。



持統天皇人形 「三十六歌人」より



伝世尊寺定成筆『新古今和歌集上』(写本)

鎌倉時代中期~後期頃

土屋文明記念文学講座

土屋文明の功績を記念し、短歌にとどまらない様々なテーマの講座を年間2回程度開催します。うち1回は、土屋文明の誕生日である9月18日に近い時期に実施予定です。

